

オリンピック・ムーブメントとこれからのミュージアムを考える 2020年東京大会とJOAのイノベーションを視野に

東京オリンピック・パラリンピックを5年後に控え、新国立競技場やエンブレム騒動に揺れながらも大会開催に向けた準備が各方面で進んでいる。日本オリンピック・アカデミー（JOA）もまた、中期目標に掲げた「オリビズムの普及と浸透」に沿って、オリンピック・ムーブメントの発展にいつその協力をしなければならない。

今年度のJOAセッションでは、オリンピック・ムーブメントの一翼を担うミュージアムに焦点を当てる。

アカデミーの語源となったプラトンの学園には、学芸の神々《ミューズ》を祀る神殿《ミュージアム》があった。国際オリンピック・アカデミー（IOA）でも、オリンピアの古代競技場の見学と共にミュージアムを研修プログラムに活用しているが、単なる偶然でも思いつきでもないだろう。

ローザンヌにある国際オリンピック委員会（IOC）のミュージアムをはじめ、現在のミュージアムの事例と動向を把握し、理想とするミュージアムの姿を思い描くことにより、はたして、これからのオリンピック・ムーブメントとJOAの取り組みにいかなるヒントが得られ、どれほどの活路が開けるだろうか。

このたびのセッションでは、札幌、長野、秩父宮、パナソニックなど国内の代表的事例を取り上げ、それぞれのミュージアムの特徴を理解すると共に、これからの取り組みや新たな挑戦にも注目しながら、オリビズムの普及拠点として、また、オリンピック・レガシーとしてのミュージアムのあり方を構想し、オリンピック・ムーブメントの新たな展開にとってJOAが果たしうる役割を展望したい。

日 時 : 2015年12月5日(土) 13:00~17:30 (受付12:15、懇親会17:45~19:30)

会 場 : 武蔵野大学 有明キャンパス 3号館301大教室

主 催 : 特定非営利法人日本オリンピック・アカデミー

後 援 : 国際オリンピック委員会

(申請中) 国際オリンピック・アカデミー

国際ピエール・ド・クーベルタン委員会

外務省

スポーツ庁

独立行政法人日本スポーツ振興センター

公益財団法人日本オリンピック委員会

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

公益財団法人日本体育協会

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

一般財団法人嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センター

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会

特定非営利活動法人日本オリンピアンズ協会

協 力 : 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

(申請中) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム、武蔵野大学

パナソニック株式会社、株式会社乃村工藝社

時 程

- 12:15 受付開始（武蔵野大学有明キャンパス 3号館 301 大教室）
- 13:00 開会式
オリンピック賛歌
主催者挨拶 笠原 一也 日本オリンピック・アカデミー会長
御来賓挨拶
- 13:30 第1部「オリンピック・ムーブメントにおけるミュージアム」
オリエンテーション：JOA セッション委員会 他
- 14:20 休 憩（10分）
- 14:30 第2部「国内オリンピック関連ミュージアムの実態と動向」（前半）
①事例報告1：長野オリンピック記念展示コーナー
土屋 龍一郎 株式会社エムウェーブ代表取締役社長
②事例報告2：札幌ウィンタースポーツミュージアム
白取 史之 札幌ウィンタースポーツミュージアム学芸員
- 15:15 休 憩（10分）
- 15:25 第2部「国内オリンピック関連ミュージアムの実態と動向」（後半）
③事例報告3：秩父宮スポーツ博物館
井上 裕太 秩父宮スポーツ博物館学芸員
④事例報告4：TOP パートナー視点でのオリンピック・ムーブメント推進について（仮）
小杉 卓正 パナソニック株式会社ブランドコミュニケーション本部 宣伝部
スポンサーシップイベント推進室
オリンピック・パラリンピック課 課長
- 16:10 休 憩（15分）
- 16:25 第3部「オリンピック・ムーブメントにとっての理想的ミュージアムと JOA の革新」
⑤事例報告5：最近のミュージアムのトレンド 株式会社乃村工藝社（調整中）
事例報告者とフロアを含めた全体討論 モデレーター：JOA セッション委員会
- 17:20 閉会式
主催者挨拶 藤原 庸介 日本オリンピック・アカデミー副会長
- 17:45 懇親会

*進行状況によって休憩時間の短縮、閉会時刻の延長なども予想されますので、予めご了承下さい。

■第1部

オリンピック・ムーブメントにおけるミュージアム

IOCは、1993年にローザンヌにオリンピック・ミュージアムを開館した。2013年には、全面的な改修を終え、リニューアルオープンしている。第1部では、近年、IOCがミュージアムの活動を重視してきた背景について、オリンピック・アジェンダ2020の内容と関連付けながら振り返る。また、オリンピック・ミュージアムの展示内容や各種プログラムについて解説し、オリンピック・ムーブメントにおけるミュージアムの役割について報告する。

オリンエンターション：JOAセッション委員会 他

■第2部

国内オリンピック関連ミュージアムの実態と動向

現在日本では、オリンピックに関する展示がさまざまな方法で行われている。第2部では、日本で展示活動を行う代表的な4つの組織に報告を依頼した。スポーツと文化の融合、国際交流の促進など、展示を通して発信されるオリビズムの有り様に迫りながら、日本におけるオリンピックに関連するミュージアムの実態と動向について把握する。来訪者にオリビズムを伝えるための工夫、今後に向けた課題について意見を交換し、会員内外の関係者と情報を共有する機会とする。

事例報告1：長野オリンピック記念展示コーナー

土屋 龍一郎 株式会社エムウェブ代表取締役社長

事例報告2：札幌ウィンタースポーツミュージアム

白取 史之 札幌ウィンタースポーツミュージアム学芸員

事例報告3：秩父宮スポーツ博物館

井上 裕太 秩父宮スポーツ博物館学芸員

事例報告4：TOPパートナー視点でのオリンピック・ムーブメント推進について（仮）

小杉 卓正 パナソニック株式会社ブランドコミュニケーション本部 宣伝部

スポンサーシップイベント推進室オリンピック・パラリンピック課 課長

■第3部

オリンピック・ムーブメントにとっての理想的ミュージアムとJOAの革新

第2部で明らかになった実態と動向を踏まえ、オリンピック・ムーブメントの推進におけるミュージアムの今後の可能性について、事例報告者とフロアを含めた全体討論を行う。人材育成や地域の活性化に貢献しているミュージアムの事例について学び、ひとを引きつけ、オリビズムを発信するミュージアムのあり方について議論する。オリビズムの普及と浸透のための恒久的拠点として理想的なミュージアムの姿を構想しながら、JOAが果たすべき役割についても展望したい。

事例報告5：最近のミュージアムのトレンド

株式会社乃村工藝社（調整中）

事例報告者とフロアを含めた全体討論 モデレーター：JOAセッション委員会

参加申し込みについて

方 法：専用サイトからの申し込み、またはファクシミリ

*電話でのお申し込みはお受けできません。

<専用サイト>



お申し込みはQRコードからJOAセッション申し込み専用サイトへ
http://olympic-academy.jp/wordpress/?page_id=1785

<ファクシミリ>

送信先 029-853-6360

1行目に件名として、「JOAセッション参加申込」と記載し、以下についてお知らせください。

- ①氏名、②勤務先（学生の場合は、学校名と学部生・大学院生の別）
- ③連絡先電話番号、④メールアドレス
- ⑤会員種別（正会員・一般会員・非会員）、⑥懇親会の出欠

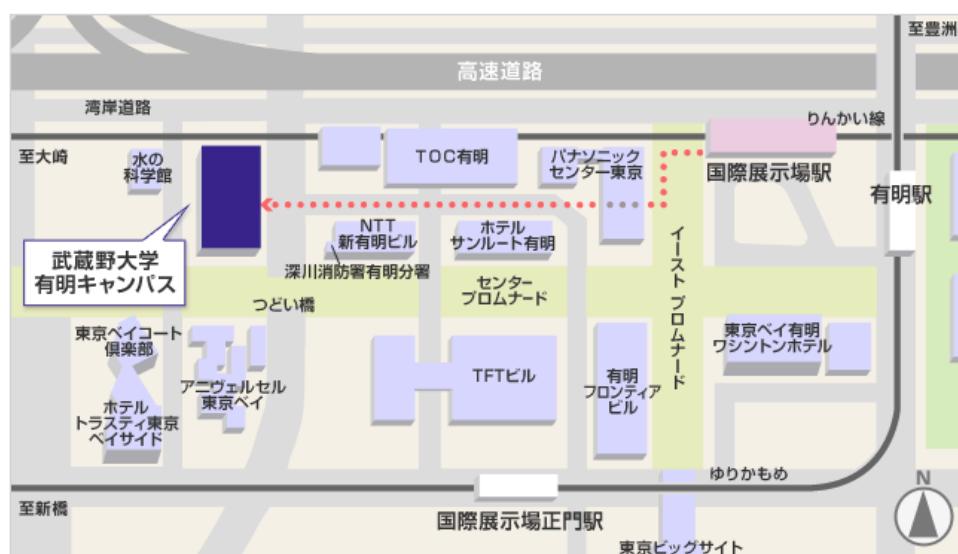
期 限：11月27日（金）

参加費：会員1,000円 非会員1,500円 院生・学生は無料

懇親会費：会員・一般非会員5,000円 院生・学生3,000円

お問合せ：aramaki@taiiku.tsukuba.ac.jp（第38回JOAセッション事務局 担当：荒牧）

会場案内



武蔵野大学有明キャンパス 〒135-8181 東京都江東区有明 3-3-3

りんかい線 「国際展示場駅」 徒歩7分

ゆりかもめ 「国際展示場正門前」 徒歩6分